

令和2年度に向けた我が校の教育ビジョン

作成年月日：令和元年12月9日

伊丹市立池尻小学校（学級数 26 学級、児童数 686 人）

1 本年度の取り組み状況（12月末現在）

- (1) 次期学習指導要領へのスムーズな移行を意識した研究を推進している。
- (2) 土曜寺子屋教室の実施 年17回実施（地域の共同施設2箇所利用69名参加）
- (3) 放課後学習の実施 年22回実施（前期37名 後期36名参加）

2 めざす学校像

- (1) 「夢があり、感動があり、子どもも教職員も生き生きと輝く学校」
 - ① 一人ひとりが生かされ、確かな学力がつく学校
 - ② 明るくあいさつ、笑顔と思いやりの心にあふれた学校
 - ③ たくましく生きるための健康や体力を育てる学校
 - ④ 保護者や地域に信頼され、支えられる学校

3 めざす子ども像

- (1) 「考えて行動する子」
 - ① わかるまで追求し粘り強く頑張る子
 - ② 明るく思いやりのある礼儀正しい子
 - ③ 健康で安全に気をつけ体力づくりに励む子

4 めざす教師像

- (1) 「使命感を持ち、実践的指導力を鍛える教師」
 - ① 子どもがわかるまでできるまであきらめず徹底して指導する情熱のある教師
 - ② 子どもや保護者に温かく誠実に寄り添うことのできる感性豊かで魅力ある教師
 - ③ PDCAで変革を目指し不断に研鑽する教師

5 我が校の特色

- (1) 素直で好奇心とチャレンジ精神旺盛な子どもが育っている。
- (2) 教職員が一丸となって教育活動を行う組織力がある。
- (3) コミュニティスクールとなり地域と風通しよく連携して活力ある学校となっている。

6 我が校の研究概要

H31年度研究テーマ「主体的に生き生きと学び合う子どもの育成」
～教科横断的な単元づくりをとおして～

昨年度「主体的、対話的で深い学び」を目指した授業改善の取り組みについて市内発表を行った。今年度も桃山学院教育大学准教授 今宮 信吾先生を講師に招聘し、池尻スタイルの授業づくり（めあての共有化・自力解決・対話的な学習、学びの整理、「わかったっ！」のふり返し）を研究の土台として、新たに「教科横断的な単元づくり」に重点をおき、「対話的な学習」をとおした思考力・判断力・表現力を高めるための授業づくりや「評価の方法」について研究を推進している。

7 学力向上に向けた取組

(1) 学校での取り組み

- ① 基礎基本徹底のための学習支援と宿題の徹底。何事も確実にやりきらせ、一人も落ちこぼれをつくらない。
- ② 低学年×30分、中学年×60分、高学年×90分の宿題の量で家庭学習を保障する。
- ③ 「学びの蓄積」を提示し、既習事項の定着と学びの連続性を意識させる。
- ④ 自分の考えを持ち、話したり書いたりして伝え合う場面を保障する授業改善。
- ⑤ 「めあて」と「(次時につながる)ふりかえり」のある授業を徹底する。
- ⑥ 特別支援教育の視点を持ち、ICT機器等の効果的な活用とUDの環境整備をする。
- ⑦ NIE教育実践校2年間の実績を生かし、新聞やクラウド型アプリを活用する。
- ⑧ タブレット型PC16台活用。『ICT×NIE×学校図書館』による情報活用能力育成。
- ⑨ 「ボリュームゼロ」を徹底し聴く力と集中力を育成。
- ⑩ 豊かな心と規範意識の醸成。(全職員で児童に関わり、ポジティブに声かけ)

(2) 家庭との協力と働きかけ

- ① 予習(自主学習ノートも活用)と復習についての家庭での対話の奨励。
- ② 家庭で子どもとの会話を奨励。学校行事や地域活動への積極的な参加の促進。
- ③ 知的好奇心の刺激。家庭で本や新聞を読むように啓発。
- ④ 土曜寺子屋教室を開催し学力向上を図る。(算数検定57名、昨年漢字検定172名)
- ⑤ 「早寝・早起き・朝ご飯」や「スマホ・ゲームのルール」等、生活習慣の確立。
- ⑥ 学期に2回、生活と学習の点検週間を設け、毎日の生活を見直す。
- ⑦ 陸上競技大会やロードレース等各種スポーツ大会の積極的な参加を促し、運動意欲の向上と粘り強く取り組み挑戦する態度、自尊感情を育てる。

8 教職員の勤務時間の適正化に向けた取組

- (1) 毎週木曜日を定時退勤日と設定。週1回は、18時一斉退勤を励行。
- (2) 子どもと向き合う時間を多くもつため、会議を精選し、ノー会議デーを多く確保
- (3) 職朝の廃止や行事の精選による授業時数確保と業務改善の工夫。
- (4) 日常生活指導の凡事徹底を図り、生活指導上の問題行動対応を減らす。

9 今後に向けて

本校の強みは、様々な教育課題に一丸となって前向きに取り組む教職員のチームワークである。職員室では、温かい雰囲気学年の枠を越えて情報交換をする姿が見られる。そのような「チーム池尻」としての組織力をこれからも継続発展させていきたい。

児童は、規範意識が高まり、落ち着いて学びに向かう姿勢が見られる。行事での集合離散や話の聞き方がよい。自尊感情が高く、基礎学力や体力・運動能力が高まりつつある。

今後とも、予防的な生活指導、学力や体力の向上と主体的に学びに向かう意欲の向上に総合的に取り組んでいきたい。以下、重点項目をあげる。

- (1) 児童が主体的に学びに向かい学力・体力がつくよう授業改善に取り組む。
- (2) 落ち着いた学習環境が持続するよう生活指導を充実させる。
- (3) 特別支援教育の充実に努める。
- (4) 保護者や地域との連携を強化する。
- (5) ホームページや学校だより等で情報発信を積極的に行う。

伊丹市立 池尻小学校 校長 磯田 かおり

我が校のHPアドレスは・・・<http://www.s-ike.itami.ed.jp/>